

えりもしゃくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html>

えりも小学校6年生と本町老人クラブ親友会が、町をきれいにする国道の花壇づくり

灯台公園国道沿いの花壇は、これまで町青年団体連盟や町漁協青年部、町女性連の皆さんで作っていました。

今年は、日高山脈襟裳十勝国立公園になった記念に、5月19日（月）、えりも小学校6年生14名と本町地区老人クラブ親友会の方々9名が2つの花壇にマリーゴールドなどを植えてくれました。

また、スクールバスの運転手さんが交通整理に協力くださいました。

整備箇所は、町の玄関口となる場所であり、これからはもっと、町内の小学生やボランティアで中学生、高校生が参加できるよう、企画していきたいと考えています。

素晴らしい取組の一つとなりました。



子どもたちの感想

えりも町をよくするために

えりも小6年 新松 心愛

今回初めて、花壇整備活動で老人会の方々と一緒に花を置く位置を考え、協力して花を植えることができました。

最後は、みんなですてきな笑顔で写真をとることができました。それを見て私は「えりも町の玄関となる花壇にみんなで花を植えられてよかったな」と思いました。

これからも、えりも町をよくするために町をきれいにしたり、明るくあいさつしたり、困っている人がいたら、助けたり、自分にできることをしたいです。

初めての花壇整備活動を通して

えりも小6年 中野 実結

花壇整備活動をやってみて、町をきれいにするの大切さと地域の方との関わり大切さを学びました。

これまで、地域の方との関わりはあまり深くなかったのが、うまく会話ができるか不安でしたが、地域の方がリードしてくれるうちに、自然と関わられるようになり、協力して花を植えることができました。

花をきれいに並べることは思ったよりもむずかしかったけれど、色あざやかに植えることができ、明るい花壇になりました。

えりも町をおとずれる人達を明るくむかえられるよう、町民みんなで協力できてよかったです。



～学校を休んでも、一緒に
学べる時代になりました～

庶野小学校を訪問した際
に、休んでいる児童がタブレ
ット端末を活用して学んでい
る姿を見ることができました
。学習参加が広がりました

○5月8日(木)、今年度初めての学校訪問
をした時のことです。

○写真は、1・2年生の複式授業です。授
業では、山下日菜子先生(4月に平取町か
ら着任)が1年生2名、2年生2名に、算
数(1年～なんばんめ、2年～ひき算)の
授業を、二つの学年を行ったり来たりして
進めていました。

○このように、先生が2個学年をわたりず
らしの形で、学年ごとに教える形式を「学
年別指導」といいます。国語や算数、社会
などで行っています。

○体育、音楽、図工、家庭などの教科は、
先生が学年の到達目標を別々に考えて一緒
に教えています。この形を「異学年同内容
指導」といいます。

○先生方は、毎日、2個学年の指導の仕方
を工夫し、指導に当たっています。



○庶野小学校の2
年生は2名ですが、
訪問当日は、1名が
体調がすぐれず、家
庭学習となりました。

○写真は、タブレッ
ット端末を有効活用
して、算数の授業に
参加している様子
です。

○先生の指示を受
け止めたり、もう一
人の教室にいる友
達と話し合ったり
しながら学習を進
めていました。

「本当の主体性」の姿は、複
式学級の先生がいないとき
の学習の姿に現れます。

右の写真は、4年生の間
接指導時の様子です。

4名の児童は、田中美枝
先生の指示に従って、考え
を深める活動に入っていま
した。正しい姿勢(立腰)で
しっかり学んでいます。



立腰や自ら学ぼうとする力は、簡単には
身に付きませんが、庶野小では学校全体で
取り組んでいます。